

## 広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	胃癌関連施設共通データベースの構築
研究責任者 (所属科名)	檜原 淳 (外科)
本研究の目的・意義	医学の進歩は、臨床的研究の積み重ねの上に成り立っています。胃癌の研究においては、今まで、関連病院各施設が独自に臨床データを蓄積する上で、研究をすすめてきました。しかしながら、単独施設のみでは症例の解析には限界を認めます。そこで、広島県の関連病院各施設のデータを共用することによって、大きいデータを解析できるようになり、より臨床に反映することが期待できます。その解析の結果、将来の新しい治療や検査、治療方法に応用し、患者さんの治療に役立てていきたいと考えています。そのための将来の研究に備えて共有のデータベースを作成することを目的としています。
調査方法・調査期間	承認後から 2029 年 3 月 31 日を研究期間とします。
該当資料・データ	<p>★対象となる患者様 承認後から 2028 年 3 月 31 日の間に、当院を受診した胃癌患者を対象としています。</p> <p>★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。カルテから使用する内容は治療年、治療開始日、診断名、性別、身長、体重、BMI、ASA-PS、PS、ヘリコバクターピロリの有無、術前合併症、手術既往歴、重複癌、胃癌家族歴、その他の癌家族歴、初診日、診断確定日、術前治療の有無、術前治療の内容、胃癌病巣数、占拠部位、断面区分、組織型分類、肉眼型分類、最大腫瘍径、T 因子、N 因子、M 因子、術前腫瘍マーカー (CEA、CA19-9、CA125、CA72-4)、術前 ESD の有無、ESD の病理結果、手術日、手術時の年齢、術式、リンパ節郭清の程度、再建方法、神経温存、大網切除の有無、網嚢切除の有無、血管走行異常の有無、合併切除臓器の</p>

	<p>有無、手術時間、出血量、輸血量、セプラフィルムの有無、ドレーンの有無、腸瘻の有無、術中偶発症の有無、退院日、術後在院日数、術後合併症、再手術の有無、術後補助化学療法の有無、術後補助化学療法のレジメ、コース数、手術の病理所見（組織型、腫瘍径、リンパ管侵襲の有無、血管侵襲の有無、深達度、リンパ節転移の個数、pStage、断端への浸潤の有無、HER2 status、薬物・放射線治療の組織学的効果判定 GIST リスク分類、NET WHO 分類）、最終生存確認日、死因、再発の有無、再発確認日、再発後の治療の有無、再発後の治療のレジメなどです。</p> <p>得られたデータを共用化し保存させていただきます。個人が特定出来る情報は収集しません。</p>
個人情報の取り扱い	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。データベースは匿名化したデータをデータベースに登録し、個人情報が保護できるように厳重に管理されており、見ることができるのは、医療関係者および研究者のみです。また、プライバシー保護のため、あなたから提供して頂いたデータは、匿名化された形で研究に使用させていただきます。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
共同研究機関	<p>尾道総合病院、呉医療センター、県立広島病院、JR 広島病院、中国労災病院、中電病院、土谷総合病院、東広島医療センター、広島記念病院、広島総合病院、広島大学病院、三次中央病院、吉田総合病院（五十音順）</p> <p>共同研究機関で共有したデータベースに、各施設ごとに登録します。共同研究機関間でのデータの受け渡しはありません。</p>
本研究の資金源（利益相反）	<p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
お問い合わせ先	<p>〒731-0293 広島市安佐北区可部南 2-1-1 電話 082-815-5211(代) 外科 部長 徳本憲昭</p>
備考	